

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 清流を守る環境保全型農業総合推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 クリーン係 電話番号：058-272-1111 (内 2868)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,464 千円 (前年度予算額：2,677 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,677	1,067	0	0	0	0	0	0	1,610
要求額	2,464	1,176	0	0	0	0	0	0	1,288
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・ 制度発足から 20 年以上経過したぎふクリーン農業は県内作付面積の 3 分の 1 に相当する面積まで普及し、多くの産地で取組まれてきた。見直しの結果、ぎふクリーン農業の理念を「ぎふ清流 G A P 評価制度」へ引継ぎ発展させることとし、令和 5 年度末に制度を終了する。円滑な移行・終了を進めるために、農業者及び実需者へのサポート、周知活動が必要。
- ・ 有機農業は多くの地域では個人の取組にとどまり、技術研鑽が図りづらく、販路の確保が困難な状況にあることから、生産・販売両面の支援を行う。

(2) 事業内容

- ①ぎふクリーン農業表示制度終了に向けた円滑な運用 (事業費 932 千円)
 - ・ 円滑な制度終了に向けた実需者等への周知活動
 - ・ R 5 年度末まで継続するぎふクリーン農業生産登録及び更新登録等事務
- ②有機農業の推進 (事業費 1,532 千円、内国費 1,176 千円、10/10)
 - ・ 有機農業者を対象とした研修会の実施
 - ・ 有機農業指導員の育成
 - ・ 有機農業の推進に向けた実情調査

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

②の一部については国 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	194	運営会議及び有機農業研修会にかかる経費等
旅費	802	担当者会議、有機農業研修会の講師及び委員の費用弁償等
需用費	237	事務用消耗品購入費等
役務費	231	郵便料、電話料
委託料	200	調査委託経費
その他	800	会議室使用料、研修会参加負担金
合計	2,464	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

長期構想

5-Ⅱ-2 ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

儲かる農業・林業・畜産業を実現し、持続可能な農山村をつくる

ぎふ農業・農村計画

2 売れるブランドづくり

(6) 特色ある食の魅力の発信

(1) 安全・安心な農畜水産物の生産体制の強化

事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

ぎふクリーン農業から「ぎふ清流GAP評価制度」へ円滑な移行を進めるために、農業者及び実需者へのサポート、周知活動を行う。GAP手法の導入推進等により環境保全型農業や安全・安心な農産物づくりの取組向上を目指す。

・有機農業については、岐阜県有機農業推進計画に基づいて栽培技術の確立・普及や消費者の理解促進を進めることにより、既存の有機農業者の経営安定と新規就農者の増加を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	現在値	目標	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

令和5年度末にぎふクリーン農業表示制度を終了し、ぎふ清流GAP評価制度へ移行させるため。

(前年度の取組)

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

- (1) ぎふクリーン農業登録更新講習会の開催（5圏域）
- (2) 有機農業指導員の育成者同士の情報交換のための交流会の開催
- (3) 有機農業指導員の育成

(前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

ぎふクリーン農業に取り組む生産者の意識喚起が図られた。
有機農業等に取り組む農業者の技術向上が図られた。
有機農業指導体制が整備された。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	<p>農業者等の環境保全型農業への取組意識が向上するとともに、安全で安心な農産物を求める消費者ニーズに対応し、売れる農産物づくりが推進されている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	<p>令和元年度末のぎふクリーン農業登録面積は16,396haで、県内作付面積の3分の1に相当する面積まで拡大しており、事業効果が現れている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	<p>県庁と農林事務所の役割が明確化しており、効率化は図られている。 有機農業者の交流会開催により情報共有を図った。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 生産者、消費者に広く周知されたぎふクリーン農業を令和5年度に終了するにあたり、農業者及び実需者等の間で混乱が生じる可能性があるため、丁寧な対応が必要。 ・岐阜県有機農業推進計画に沿って有機農業を推進する必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ぎふクリーン農業を円滑に終了し、新制度へ移行できるように農業者及び実需者等へのサポート、制度の周知を行う。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	